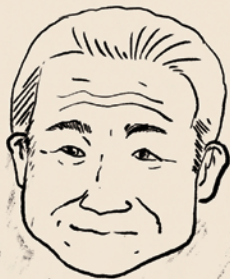


魚があつて大漁が上がるどきが一番の仕事の達成感やね。



海の漁師

聞き書き

昔の暮らしを聞いて描く

カンカンカンカン
楽しくやる時代があったんだよ。
漆でかぶれても楽しかった。



船大工

私が福井県で最初にフグ養殖を始めたんですよ。



フグ養殖

地域の未来図

聞き描き

4人でへしこづくりでしょって始まったんですよ。
小遣い稼ぎしよって始まったんですよ。



へしこづくり

漁業っていつのは繊細な仕事です。
その道で生きようと思ったら難しい。
でも、面白い職業です。



湖の漁師

昭和60年までは、古い風呂桶を
河原に並べて魚を育ててました。



川魚養殖

僕は、好きやからね、魚がね。
だからどんな苦労しても
魚が捕れるとものすごく嬉しい。



湖の漁師



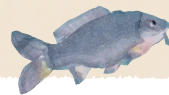
書く



撮る



聞く



2023年 9/17 (日)

16時~

(開場15:40)

リブら若狭

三方上中郡若狭町中央 1-2

入場無料

申し込みはこちら



2022年、美浜・若狭町に暮らす7人の名人のもとを大阪や静岡、愛知県などに暮らす高校生たちが「聞き書き」に訪れました。高校生たちが、この地域を訪れ感じたこと、名人の取材を通じて得たものはなんだったのでしょうか。

また美浜・若狭町では「昔のくらしの様子」を聞いて、水彩画を描く取り組みが行なわれ、集まった絵画も1700枚以上になっています。

2つの活動に共通するのは、昔のくらしの様子を体験者本人から「聞く」ということ。この活動を通して出会う「人」と「人」とのつながり、そして語られた言葉が伝える「人」と「自然」のつながりが地域に何をもたらすのか考えてみたいと思います。

- 16:00 開始のあいさつ
- 16:05 渋沢寿一氏講演「いま、なぜ聞き書きか」
- 16:45 高校生インタビュー 1
- 17:10 休憩
- 17:20 高校生インタビュー 2
- 17:45 富田涼都氏講演
「水辺の風景画募集から見える
人と人・人と自然と、これからのつながり」
- 18:15 まとめ
- 18:30 終了



渋沢寿一氏
(NPO法人共存の森
ネットワーク理事長)



富田涼都氏
(静岡大学准教授)

主催：一般社団法人 Switch Switch・福井県里山里海湖研究所
後援：三方五湖自然再生協議会
お問合せ：0770-45-3580 (福井県里山里海湖研究所 担当：樋口)

